

入学者選抜方法・大学入試の改善に関する 答申や提言と 研究課題の関わり

過去の答申・提言

- ◆ 21世紀を展望した我が国の教育の在り方について
 - ◆ 平成9年 中教審
- ◆ 初等中等教育と高等教育との接続の改善について
 - ◆ 平成11年 中教審答申
- ◆ 大学入試の改善について
 - ◆ 平成12年 大学審答申 <==== ◎
- ◆ 平成22年度以降の国立大学の入学者選抜制度
 - ◆ 平成19年 国大協
- ◆ 私立大学入学生の学力保障
 - ◆ 平成20年 日本私立大学連盟

1

答申・提言のキーワード

- ◆ 『全入時代』
- ◆ 学力保障、基礎学力
- ◆ 入学者受入方針(アドミッションポリシー)
- ◆ 多様化、多元化、多面的評価
- ◆ やり直しのきく入試システム
- ◆ 資格試験的取扱い
- ◆ 適切な出題、良質な試験問題
- ◆ 論理的思考、総合的な問題・試験
- ◆ ……

2

答申：基本的視点

- ◆ 大学入試の改善について(平成12年 大学審答申)
- ◆ 基本的視点(図): 実現すべき目標
 - ◆ 入学後の教育との関連を十分に踏まえ、「求める学生」を見出すこと
 - ◆ 評価尺度を多元化し、受験生の能力・適性を多角的に判定すること
 - ◆ 受験生に能力・適性を証明する機会をより多く提供し、やり直しのきく入試システムを構築すること

3

答申：具体的改善方策

- ◆ 大学入試の改善について(平成12年 大学審答申)
- ◆ 具体的改善方策(図)
 - ① 入学後の教育を踏まえた入試改善
 - アドミッション・ポリシーの明確化
 - 各大学にふさわしい入試
 - ② 能力の多面的判定
 - ③ やり直しのきく入試システムの構築

4

研究開発部の役割

- ◆ 大学入試センター試験
 - ◆ 大学入学を志願する者の高等学校の段階における基礎的な学習の達成の程度を測定する
- ◆ 研究開発部の研究目的:
 - ◆ 入学者選抜方法の改善
 - ◆ 中期目標、中期計画
 - 大学入試センター試験の改善に資するための研究
 - 中期計画1-(2)
 - 各大学の入学者選抜方法の改善に資するための研究
 - 中期計画2

5

研究課題との対応

- ① 入学後の教育を踏まえた入試改善
 - ◆ アドミッション・ポリシーの明確化
 - ◆ 各大学にふさわしい入試
 - AP・履修状況調査、センター試験の役割調査
 - ② 能力の多面的判定
 - ◆ 良質な試験問題
 - ◆ 総合的な試験の導入
 - ◆ リスニングテストの導入 ==> H18に導入(事業)
 - 総合基礎試験、総合試験、小論文の自動採点、面接評価、AO・推薦入試評価
 - ③ やり直しのきく入試システムの構築
 - ◆ 年度内複数回実施、成績複数年利用
 - 得点等化、得点調整
- ◆ → データベースの構築、テスト理論の開発研究

6

プロジェクト研究・大学連携研究

- ◆ プロジェクト研究Ⅰ ← AP・履修状況調査、センター試験の役割調査
 - ◆ ユニバーサル化時代に対応したセンター試験のあり方に関する調査研究
- ◆ プロジェクト研究Ⅱ ← 総合基礎試験、総合試験
 - ◆ 新しい枠組みとしての総合試験の実証的研究
- ◆ プロジェクト研究Ⅲ ← 得点等化、得点調整、小論文の自動採点
 - ◆ 試験の公平性と信頼性に関する研究
- ◆ プロジェクト研究Ⅳ ← データベースの構築、テスト理論の開発研究
 - ◆ センター試験に関わる統計情報の蓄積と利用に関する研究
- ◆ 大学連携研究A ← 総合基礎試験、適性試験、リスニング
 - ◆ 大規模試験の波及効果と妥当性に関する研究
- ◆ 理事長裁量経費 ← 面接評価、AO・推薦入試評価

7

入試研究の新時代を開くために

- ◆ 人的資源の不足
 - ==> 客員研究員制度の導入
 - ==> 全国的な人的ネットワークの構築
- ◆ 要求事項(研究テーマ)の増加
 - ==> 重点項目を絞る、「選択と集中」
- ◆ 入学者選抜方法
 - ==> 改善への寄与
- ◆ 皆様方のご理解・ご助言を

8